



法人税を上げると不景気になる？

先週、日曜ジジ通信 五一七号に「法人税を見直し消費税をゼロに」と書いた。すると「法人税を上げたたら会社が大変。不景気になる」との声が寄せられた。

所得税と法人税は違う

所得税や消費税が上がると、庶民が使えるお金は直ちに減る。この事から、法人税が上がると会社は大変との誤解が生ずる。

そこで、個人の家計と会社の会計を対比すると：・個人の場合、給料に所得税がかかる。個人の給料に相当するのは会社の売り上げ。これに税がかかる訳ではない。売り上げから、原材料費、設備費、労務費などを差し引いた残りが利益。この利益に法人税がかかる。赤字なら法人税はゼロ。利益の計算に法人税は

関係無い。これを家計に置き換えると、給料から家計費を引いた残りを貯金する時に初めて税金がかかるようなもの。賃金を抑え利益を増やせば沢山の法人税が課税される。そうなるなら、賃金を上げ社員モチベーションを上げた方が良い事になる。

消費税をゼロにすると

会社も原材料費等に消費税を払うが、製品を売る時に受ける消費税から差し引いて納める。だから元々会社は消費税を負担しない。消費税がゼロになると庶民の購買力は10%増。会社の売上げも増え、利益も上がる。法人税を上げてでも消費税を減らした方が、会社も家計も良くなる？

あなたはどう思われますか？

富士山の見える町

山梨県南アルプス市上市之瀬にて
二〇二一年十月



緊急事態宣言が解除された。そこで、美術家平和会議の大先輩、日本画家宮本和郎先生の展覧会に南アルプス市立美術館にでかけた。

県境を越えて山梨県に入って驚いたのは感染症対策の充実。レストラン等で、一人一人のスペースを透明なアクリル板で仕切っていた。神奈川県には余り見られない。県民の注意を喚起。感染を抑えるのに効果があったのではないか？因みに人口当り累積感染者数で山梨は東京の四分の一、神奈川の三分の一だ。

この南アルプス市は南アルプスの東の裾にある。少し登った所で振り返ると富士山が大きく聳えて見えた。

この地の西には日本第二の高さを誇る北岳があり、市の西の端には仙丈ヶ岳、間ノ岳などがある。

